

教科	書写	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のもどまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこうの もじたんけん	1	○学校の中にはいろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	○校内にあるさまざまな文字に気づいている。 校内にある文字をカードに書いている。	○校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。	○校内にあるさまざまな文字を探そうとしている。
1 はじめの がくしゅう ①じを かくしせい ②えんぴつの もちかた ③たのしく かこう	1	○よい姿勢・鉛筆の持ち方を知ることができる。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で、いろいろな線や形などを書き、運筆に慣れることができる。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で運筆している。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとしている。
2 ひらがなの がくしゅう ①せんの おわりの かきか	1	○終筆(「とめ」と「はらい」)の書き方を理解することができる。 ○鉛筆のよい持ち方で、終筆の書き方に気をつけて書くことができる。	○終筆の書き方を理解している。 終筆の書き方に気をつけて書いている。	○終筆の書き方を理解している。 終筆の書き方に気をつけて書いている。	○終筆に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
②かきじゅん	1	○正しい書き順について知り、指でなぞって確かめることができる。 ○書き順に気をつけて、正しく書くことができる。	○正しい書き順について理解している。 正しい書き順で書いている。	○正しい書き順について考えている。	○書き順に気をつけて書こうとしている。 他の書写場面でも、書き順に気をつけて書こうとする意識をもっている。
③じを かきはじめる ところ	1	○文字の始筆(書き始めるところ)の位置について、理解することができる。 ○文字の始筆の位置に気をつけて、正しく書くことができる。	○始筆の位置を理解している。 正しい始筆の位置で書いている。	○始筆の位置について考えている。	○始筆の位置に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。
④せんの とちゅうの かきかた	2	○送筆(「まがり」「おれ・おりかえし」「むすび」)の書き方を理解することができる。 ○送筆の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。	○送筆の書き方について理解している。 送筆の書き方に気をつけて書いている。	○送筆の書き方について考えている。	○送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑤にて いる ひらがな	2	○形が似ている平仮名について、違うところを理解することができる。 ○形が似ている平仮名について、違うところに気をつけて書くことができる。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点を理解している。 似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書いている。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点について考えている。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら書こうとしている。 他の文字でも平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。

<p>⑥まずめの なかの かくとこ ろ</p>	<p>1</p> <p>○拗音・促音、句読点、かぎ、濁点の書く位置や大きさを理解することができる。</p> <p>○まず目の中の書く位置に気をつけて、言葉や文章の中で正しく書くことができる。</p>	<p>○拗音・促音などの書く位置や大きさについて理解している。拗音・促音などを正しい位置で書いている。</p>	<p>○拗音・促音などの書く位置や大きさについて考えている。</p>	<p>○拗音・促音などに気をつけて書く意識をもっている。他の文字でも、拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>⑦じの かたち</p>	<p>1</p> <p>○それぞれの文字の、おおよその形を理解することができる。</p> <p>○文字の外形に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○文字の外形を理解し、練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。おおよその形に気をつけて書いている。</p>	<p>○文字のおおよその形について考えている。</p>	<p>○文字のおおよその形に気づき、学習への意欲をもっている。他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>⑧ひらがなの ひょう</p>	<p>1</p> <p>○それぞれの文字の、おおよその形を理解することができる。</p> <p>○文字の外形に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○文字の外形を理解し、練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。おおよその形に気をつけて書いている。</p>	<p>○文字のおおよその形について考えている。</p>	<p>○文字のおおよその形に気づき、学習への意欲をもっている。他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>3 かたかなの がくしゅう</p> <p>①かたかなの かきかた</p>	<p>1</p> <p>○片仮名の終筆(「とめ」「はね」「はらい」と送筆(「おれ」「まがり」))に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方について理解している。終筆と送筆を正しく書いている。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方について考えている。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の片仮名の言葉でも終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>②じの かたち</p>	<p>1</p> <p>○片仮名の外形の違いを理解して、正しく書くことができる。</p>	<p>○片仮名のおおよその形を理解している。片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。</p>	<p>○片仮名のおおよその形を理解している。片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の片仮名の言葉でも終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>③にて いる じ</p>	<p>1</p> <p>○文字の形が似ている片仮名を、点画の方向の違いを理解して、正しく書くことができる。</p> <p>○片仮名と平仮名の違いを理解して、片仮名で書く言葉を正しく書くことができる。</p>	<p>○「点」と「はらい」の方向について理解している。「点」と「はらい」の方向に気をつけて書いている。片仮名と平仮名の違いを理解して書いている。</p>	<p>○はらう方向の違いについて考えている。片仮名と平仮名の形のの違いについて考えている。</p>	<p>○片仮名と平仮名の形のの違いに気をつけて書こうとしている。他の文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。</p>
<p>4 かん字の 学しゅう</p> <p>①かくの おわりの かきかた</p>	<p>2</p> <p>○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方を理解することができる。</p> <p>○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○終筆の書き方を理解している。終筆を正しく書いている。</p>	<p>○終筆の書き方について考えている。</p>	<p>○終筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>②かくの とちゅうの かきか</p>	<p>2</p> <p>○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)を理解することができる。</p> <p>○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○送筆の書き方について理解している。送筆を正しく書いている。</p>	<p>○送筆の書き方について考えている。</p>	<p>○送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

③文字の かたち	2	○漢字の外形の違いを理解することができる。 ○漢字の外形の違いに気をつけて、正しく書くことができる。	○文字の外形を理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて書いている	○文字の外形の違いを考えている。	○文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。 他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
④かきじゆん	2	○書き順の原則(上から下へ、左から右へ、横から縦へ)を理解することができる。 ○書き順に従って、文字を正しく書くことができる。	○書き順の原則を理解している。 書き順の原則に従って、正しく書いている。	○書き順の原則について考えている	○書き順の原則に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている
⑤かきぞめ	3	○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて、正しく書くことができる。 ○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、書き順や字形(「とめ」「はね」「はらい」)に気をつけて、丁寧に書くことができる。	○書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形について理解して書いている。	○書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。 書き順や字形について考えている。	○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて書こうとしている。 書き順や字形に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑥かくの ながさと ほうこう	2	○画の長さの違いを理解することができる。 ○画の長さの違いに気をつけて、正しく書くことができる。 ○「おれ」の方向の違いを理解することができる。 ○「おれ」の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。	○画の長さの違いについて理解している。 「おれ」の方向の違いについて理解している。 画の長さによって書いている。 「おれ」の方向に気をつけて書いている。	○画の長さの違いについて考えている。 「おれ」の方向の違いについて考えている。	○画の長さによって書こうとしている。 「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとしている。 他の文字でも画の長さによって書こうとする意識をもっている。 他の文字でも「おれ」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【かいて つたえあおう】 ありがとうカードを かこう	2	○学習したことを生かして、字形や書き順に気をつけて、丁寧に書くことができる。	○カードの書き方について理解している。 字形や書き順に気をつけて書いている。	○カードの書き方について、考えている。	○友達に贈るカードを、相手意識をもって意欲的に書こうとしている。 他の学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。
学しゅうの まとめ	2	○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができる。 ○字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書くことができる。	○文字の形や書く位置について理解している。 字形や書く位置に気をつけて書いている。	○今まで学習した内容について考えている。	○学習したことを生かして書こうとしている。 他の文章でも、字形や書く位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【しりたい 文字の せかい】 なんの かたちから できた かん字かな	1	○自然の形からできた漢字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。	○漢字の成り立ちについて理解している。 学習した漢字について、字形に気をつけて書いている。	○漢字の成り立ちについて考えている。	○漢字の成り立ちに対する興味・関心をもって書こうとしている。 他の漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。
【かん字の ひょう】 一年生で 学しゅうする かん字	1	○1年生で学習した終筆(「とめ」「はね」「はらい」)や送筆(「おれ」「まがり」「そり」)などの漢字の書き方を確かめることができる。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形について理解している。 送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間集めなどを行っている。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形の良しあしを考えている。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形を確かめようとしている。 他の文字でも終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。